広報 たなべ

田辺町役場
電話田辺271～274
発行人　京都府田辺町公室
印刷所　奥田印刷ＫＫ

'68.8

No. 61

二　又

ここは田辺の南部、近鉄三山木駅や片町線上田辺駅があり、三山木、普賢寺の表玄関・商業地域として栄えています。近くには、山本の寿宝寺やむかしの駅制の碑、筒城が丘などがあります。

人口は 938人。　世帯数は 212。

（写真は三山木駅のあたり）

町の人口は……

（43.7.1現在）

男	9,038人
女	9,454人
計	18,492人
世帯数	4,356

夏です！　こどもを水と交通事故から守ろう！

対話で進む町づくり

町政3目標

ことしの町の台どころ

総額（一般会計）

308,300,000

ことしの町のしごとやお金の使いみちは、どうなっているのか――町のみなさんには、大へん興味ぶかいことと思います。そこで二年目をむかえた原田町政は、ことしどのようなしごとに力を入れるのか、またお金の使いみちは、どうなっているのかを、町長の施政方針の中からおしらせすることにしました。

みなさんの暮しを守り、夢や要望をはぐくんで行くための町の理想像は、まず「緑のある健康な新しい町づくり」にあります。

◎◎◎◎◎◎◎◎◎ 安全で健康な生活を

「緑の町」のキャッチフレーズを掲げて昨年から調和のある計画にもとづく均こう発展のため、町を構成する、いろんな要素、たとえば道路や橋、川や水道、環境衛生、教育や福祉施設の整備などにつとめています。

さて、昭和四十三年度の町の予算ですがことしは積極予算として編成し、一般会計の当初予算は三億八千三百万円となり、昨年にくらべて、当初予算では、一億一千五百八十四万円の増となっています。くわしくは、本紙の図表など、ごらんください。

それでは、ことしの町のしごとを進めるうえで、重点目標となるものは、どのようなものか――

原田町長は、ことしの予算をきめる町議会で、三つの柱となる町政の方針を、つぎのように示しました。

それは、

一、町の環境の整備と交通安全対策

二、町の中心となる産業の育成と振興

三、町づくり計画の推進

の三つです。

（町議会での原田町長・岡本議長ら）

◇◇◇◇◇◇◇◇ 通学道路の整備など

第一の「町の環境の整備と交通安全対策」ですが、私たちの生活環境を整備して、安全で健康的な日々の生活を過ごせるようにすることが現代では重要な行政の責務であります。

そのためには、私たちの生活と密接な関係にある、下水や排水などの施設の整備が大切です。

とくに、田辺地区の都市下水路としての整備は、ことしから五か年計画で調査研究し実施することにしています。このほか町内各地区についても、こんご都市化されて行くことを考慮し、基本的な公共下水道の計画を建てねばならない時期にあります。

つぎに、じんあい処理ですが、ことしは、焼却場の拡張を立案しその用地を確保する計画があります。そして来年度から拡張工事を実施することにしています。

このほか、こどもたちのためにことしから、〝チビッコ広場〟ともいうべき遊び場を、みなさんの協力をえて実現したい考えです。

また昨年から「緑の町」をつくるため植樹をあっせんしたり、緑化運動を年二回すすめていますが、ことしも、みなさんの住まいのまわりや町内にある工場や事業所のあき地などに植樹を広めたい考えです。

町の環境整備には、このほか宅地化されるにしたがって残る農地の用水源の確保や中小河川を整備して、あらゆる公害から、みなさんの生活環境を守って行かねばなりません。

つぎに交通安全対策ですが、これは今日、交通戦争といわれるように、私たちの周囲をみても、交通事故は日常茶飯事のできごとであり、その対策は今日の大きな社会問題となっています。

私たちが安心して通行できるよう、こどもたちが安全に学校へ通学できるよう、通学道路の整備など急務といわねばなりません。また町は、万一の事故にそなえ、おたがいに助け合うためにも、血液型や預血運動を推進する必要があると考えています。このほか、夜間の防犯と安全通行のために町内には、まだまだ街灯を設置する必要があります。

◇◇◇◇◇◇ 育つ産業へ脱皮

第二は、私たちの町の産業の振興です。時代の推移によって、日ごとに農地は減少しています。たとえ、その生産性が低下したとはいえ、やはり町の基幹産業は農業であり、特産はそ菜や茶です。

そこで町は、農業振興の母体となる農業協同組合の合併推進や技術の改革をさらに推め、近代的な近郊農業への脱皮を、はからねばならないときにきています。

そして他産業との格差をなくして行く方向を見い出さねばなりません。

◇◇◇◇◇◇◇◇ 町づくり計画を推める

第三は「町づくり計画の推進」です。これは、新しい都市計画法にもとづいて、これからの田辺の新しい町づくりをどのようにすすめるかという、もっとも大切な土地利用計画の推進です。

いま町では、その作業をすすめていますが、それに先だって本紙六十二号では、「踏みだす町都市計画事業」の解説を特集します。

これらの町の重点目標を進めて行くためには、みなさんの声を町政に反映しなければなりません。

ことしも町長との対話を計画しています。みなさんのご協力をおねがいします。

昭和43年度一般会計予算

（歳入）　（歳出）

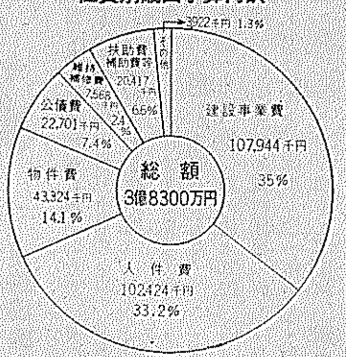
款	予算額（千円）	構成比 %	款	予算額（千円）	構成比 %
町税	128,062	41.5	議会費	8,816	2.9
娯楽施設利用税交付金	5,000	1.6	総務費	58,379	18.9
自動車取得税交付金	5,000	1.6	民生費	39,513	12.8
固有提供施設等所在市町村助成交付金	996	0.3	衛生費	12,254	4.0
地方交付税	60,000	19.4	労働費	30	—
交通安全対策特別交付金	500	0.2	農林水産業費	20,036	6.5
分担金および負担金	10,706	3.5	商工費	1,369	0.5
使用料および手数料	7,230	2.3	土木費	40,668	13.2
国庫支出金	31,404	10.2	消防費	9,985	3.2
府支出金	9,525	3.1	教育費	87,824	28.5
財産収入	779	0.3	災害復旧費	4,125	1.3
寄付金	1,800	0.6	公債費	22,701	7.4
繰越金	1	—	諸支出金	100	—
諸収入	2,297	0.8	予備費	2,500	0.8
町債	45,000	14.6			
歳入合計	**308,300**	100.0	**歳出合計**	**308,300**	100.0

たばこ消費税は町の財源に……たばこは町内のお店で

ことしの町のおもなしごと

区　分	しごとの内容	予算額 千円
企　画	町土地利用計画の樹立・町勢要覧・**町政を語る会・町年中行事表**作成など	500
総　務	交通安全町内活動・**交通安全教室・街灯の設置**など	1,400
	防火普及・検査・出初式・婦人消防訓練・**消防施設の整備**など	3,950
	窓口事務の合理化と住民サービス	744
福　祉	慰霊祭・敬老会・老人クラブ活動・老人健康診査・敬老金支給など	2,084
	民生委員活動・隣保館活動・成人式・同和事業など	7,049
	チビッコ広場の設置など	500
衛　生	結核予防・母子の栄養強化・各種予防接種・胃の検診・ハエ・かの駆除・**下水溝の整備・じんあい処理場敷地の確保**など	6,188
建　設	町道路の舗装改良及び新設改良など	24,960
	橋梁の維持・新設改良	3,000
	河川の改修補修など	2,186
産　業	水稲省力栽培・農業後継者育成・主産地形成・農業構造改善・鶏ニューカッスル病予防など	770
	農道改良・**地積調査**など	9,242
	緑化運動・商工業振興など	924
	公共土木施設・農地災害復旧など	3,872
教　育	**草内小学校水泳プール建設・田辺小学校危険校舎改築・田辺小学校増築・三山木小学校庭整備**など	49,903
	婦人学級・家庭教育学校の開設・指導者研修など	221
	分館新設・青年学級・図書館の充実など	1,142

性質別歳出予算内訳



昭和43年度町国民健康保険予算

（歳入）

款	予算額	前年比
	千円	千円
国民健康保険税	28,340	2,196
一部負担金	2	—
使用料及び手数料	14	6
国庫支出金	45,493	4,891
府支出金	660	660
財産収入	137	△ 137
繰越金	1	△ 199
諸収入	15	5
合　計	**74,662**	7,422

（歳出）

款	予算額	前年比
	千円	千円
総務費	4,123	△ 761
保険給付費	68,765	7,968
保健施設費	1,221	195
公債費	1	—
諸支出金	52	20
予備費	500	—
合　計	**74,662**	7,422

昭和43年度町水道事業予算

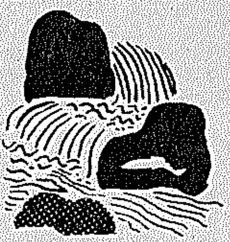
（歳入）

款	項	予定額
		千円
事業収益	営業収益	27,680
	営業外収益	305
合　計		**27,985**
資本的収入	企業債	42,000
	分担金	5,490
	固定資産売却代金	40
合　計		**47,530**

（歳出）

款	項	予定額
		千円
事業費用	営業費用	18,324
	営業外費用	5,024
	予備費	300
合　計		**23,648**
資本的支出	建設改良費	49,121
	企業債償還金	2,012
合　計		**51,133**

夏に拾う

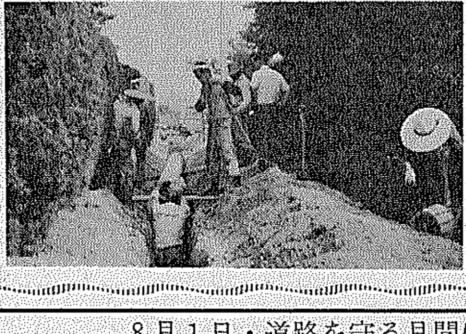


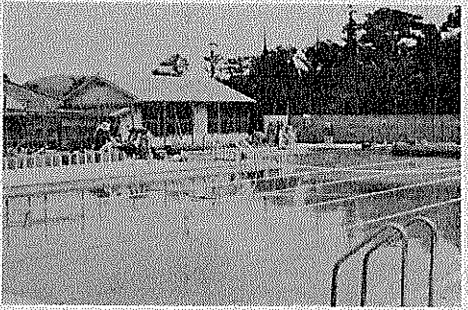
水の話題

◇大住の水道 これで大丈夫！

町では大住地区の水不足を解消するため、いま口径二百ミリの新水道管を西新－健康村間約八百メートル（工費二百七十五万円）に敷設しています。これが八月上旬完成しますと、一日一千トンの給水能力があり、この夏は、これで水不足が解消します。

また同時に大住地区の現在の水源地に新たに新水源地を確保するためボーリングを行なっています。





◆草内小のプール完成

こどもたちが待ち望んだ草内小学校の水泳プールは、この八月一日に完成しました。

プールの総工費は用地費もふくめて九百三十万円で、延長二十五メートル、五コースで、プールには低学年用の補助プールも付いています。

これで町内五つの小学校に、すべてプールが完備しました。

8月1日・道路を守る月間はじまる。道路を広く、美しくつかいましょう！